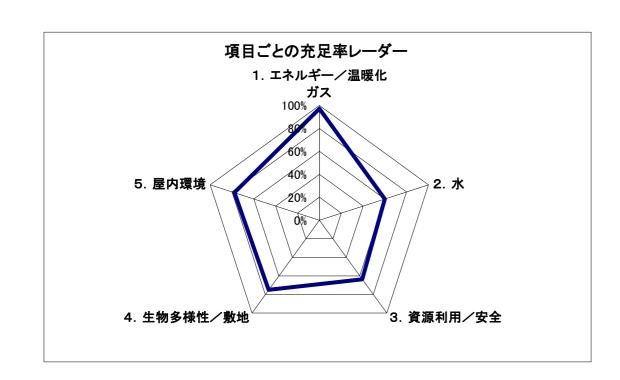


2=b-/b/m-1011 735										
建物概要 建物名称	DPLつくばる	2日4		敷地面積		37,066	m^2	評価の段階	運用段階評価	
建設地			どりの南23-1	建築面積		22,655		評価の実施日	2024年10月11	日
用途地域	準工業地域		2 7 0 7 111 20 1	延床面積		41292.6		作成者	米田 拓朗	
建物用途	物流施設			階数	地上2F			不動産評価員番号	_	
竣工年月	2021年6月			構造	S造			確認日	2024年11月15	日
<u>単</u> 近の天規	模改修実施年	月		平均居住 年間使用			人 時間/年	確認者 不動産評価員番号	米田 拓朗 ふ-001471-29	
評価結果				十间灰木	時间 7000		时间/一	1. 刧庄計画貝田 7	3, 001471 23	
不可则而							S ランク:	****	≧	78
79.4	/100	合計			A 1 - 1 A 1 - 1 A 1		A ランク;		_	66
(得点	/ 満点)						B+ランク;		_	60
보 스크 (4·1	1、*** 上 *** 4 / 土 十	ェのま	==1.+7				B ランク;	**	≧	50
	小数点第1位ま									
コ・エネル・評価	ギー/温暖 最大加点	ピカス					指標	(*は参考値)	評価値	
適合		必須項	頁目	;省エネルギー基準への通	i合、目標設定、モニタリ	ング、運用管理体		(16岁号厘)		
1.0	加点 1		根拠等	実績値より省エネ基準へ	の適合、年間実績を批	と握、ベンチ	一次エネ	ルギー(目標値)		MJ/m²•年
				マーク比較実施、次年度	省エネ目標設定、テナ	ントと共同し				
20.0	20	1.1	使用・排出原単	位(計昇値) 実績値より (エネルキー	消費量実績値一覧参览	()	ーカーネ	ルギー(計画値)	30.8	MJ/m²•年
			似地哥	二次エネルギー=一次エ				ルギー(*)		kWh/m²•年
				CO2排出量を算出する係		(Wh(電気)	CO₂排出	` '		kg-CO ₂ /m ² •年
5.0	5	1.2	使用·排出原単	位(実績値)						_
			根拠等				水道光熱	費	131.6	円/m²•年
				実績値参照						
3.0	5	1.3	省エネルギー(イ	 仕様評価)	省エネ計算対象外	トの倉庫エリア等	I			
			根拠等	1),2),5)			導入され	た対策項目数	3.0	項目
5.0	5	1.4	自然エネルギー				******		005 106 1	lo.
34.0	35	合計	根拠等	太陽光発電設備を設置して	いる		利用率		205,426.0	%
J 34.0	_I აა	ΠĀT								
2. 水										
評価	最大加点			D 7 - 2	NE III 44 - III 44 - II		指標		評価値	
適合		必須項		;目標設定、モニタリング、 水消費実績を把握、次年			ᆉᄷᄆᄝ	1(目標値)		L/m²•年
	0	<u>2</u> .1	水使用量(計算		スローイロ 伝议化	 評価しない	小区用重	E (미개띠/		√III
6.0	10		水使用量(仕様	評価)		2	ı			,
				1), 2)			水使用量	世(計画値)		L/m²•年
6.0	10	2.3 合計	水使用量(実績	值)		評価しない				
0.0	10									
3. 資源利	用/安全									
評価	→ 最大加点	×	- -	*****	, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,		指標		評価値	
適合		必須項		;新耐震基準への適合また 新耐震基準に適合	こはIS個、IT個		なし			
3.0	5	3.1	高耐震•免震等		3.1.1と3.1.2の点数		<i>'</i> aC			
3.0			耐震性							
0.0	_	0.1.0		建築基準法に定められた	耐震性を有する					
3.0		3.1.2	免震・制震・制振							
			根 机	導入していない			İ			
3.5	5	3.2		導入していない 廃棄物処理負荷抑制						
	5	3.2.1	再生材利用率 • 再生材利用率	廃棄物処理負荷抑制	① と ②の)平均で評価する	1			
3.0	5	3.2.1	再生材利用率· 再生材利用率 躯体材料	廃棄物処理負荷抑制 使用していない)平均で評価する	 	.材只日数(非構造材)	2	显日
	5	3.2.1 ① ②	再生材利用率· 再生材利用率 躯体材料	廃棄物処理負荷抑制 使用していない リサイクル資材を使用して)平均で評価する	リサイクル	材品目数(非構造材)	2	品目
3.0	5	3.2.1 ① ② 3.2.2	再生材利用率・ 再生材利用率 躯体材料 非構造材料 廃棄物処理負荷 躯体材料の耐用	廃棄物処理負荷抑制 使用していない リサイクル資材を使用して 打抑制 日年数	いる					
3.0 4.0 3.0	5	3.2.1 ② 3.2.2 3.3	再生材利用率・ 再生材利用率 躯体材料 非構造材料 廃棄物処理負荷 躯体材料の耐用 根拠等	廃棄物処理負荷抑制 使用していない リサイクル資材を使用して 抑制 年数 建築基準法に定める対策	いるが講じられている	評価しない	経過年数+	- 今後の想定耐用年数		品目
3.0		3.2.1 ① ② 3.2.2 3.3	再生材利用率・ 再生材利用率 躯体材料 非構造材料 廃棄物処理負荷 躯体材料の耐用 根拠等 主要設備機器の	廃棄物処理負荷抑制 使用していない リサイクル資材を使用して 計抑制 年数 建築基準法に定める対策 更新必要間隔/設備の自	いるが講じられている	評価しない	経過年数+			
3.0 4.0 3.0 3.2 4.0	5	3.2.1 ① ② 3.2.2 3.3 3.4 3.4.1	再生材利用率・ 再生材利用用率・ 躯体材料 非構造材料 廃棄体材料の耐料 を要設備機器の 主要設備機器の 根拠等	廃棄物処理負荷抑制 使用していない リサイクル資材を使用して 抑制 目年数 建築基準法に定める対策 更新必要間隔/設備の自編)更新必要間隔	いるが講じられている	評価しない	経過年数+ 3.4.	- 今後の想定耐用年数	平均	
3.0 4.0 3.0 3.2	5	3.2.1 ① ② 3.2.2 3.3 3.4 3.4.1	再生材利用率・ 再生材利料料 事性材料 事業体材料 事業体材料 事業 事業 事業 事業 事業 の の の が の が 機器の の が 機器の の 機器の の 機器の の 機器の の 機器 機機機 の の の の	廃棄物処理負荷抑制 使用していない リサイクル資材を使用して が抑制 日年数 建築基準法に定める対策 更新必要間隔/設備の自 更新必要間隔 計算式参照 自給率向上	いるが講じられている	評価しない	経過年数+ 3.4. 更新年数	·今後の想定耐用年数 1,3.4.2,3.4.3,3.4.4の なの平均値	平均	年
3.0 4.0 3.0 3.2 4.0	5	3.2.1 ② 3.2.2 3.3 3.4 3.4.1 3.4.2	再生材利用率・ 再生材材料料料理の耐料 事業体材料理の耐機機構 事要設備機機機型の ででである。 は、電力を関係である。 は、電力を表する。 と、電力を表する。 と、電力を表する。 と、電力を表する。 と、電力を表する。 と、電力を表する。 と、電力を表する。 と、こと、こと、こと、こと、こと、こと、こと、こと、こと、こと、こと、こと、こと	廃棄物処理負荷抑制 使用していない リサイクル資材を使用して が抑制 日年数 建築基準法に定める対策 更新必要間隔/設備の自 更新必要間隔 計算式参照 自給率向上	いるが講じられている	評価しない	経過年数+ 3.4. 更新年数	·今後の想定耐用年数 1,3.4.2,3.4.3,3.4.4の	平均	年
3.0 4.0 3.0 3.2 4.0 2.0	5	3.2.1 ② 3.2.2 3.3 3.4.1 3.4.2 3.4.3	再生材利利料 年生材材 利利料材材 大型 大型 大型 大型 大型 大型 大型 大型 大型 大型	廃棄物処理負荷抑制 使用していない リサイクル資材を使用して 抑制 年数 建築基準法に定める対策 更新必要間隔/設備の自約 更新必要間隔 計算式参照 自給率向上 (4) (1)、2)、4)、5)、6)	いるが講じられている	評価しない	経過年数+ 3.4. 更新年数 自給率向	·今後の想定耐用年数 1,3.4.2,3.4.3,3.4.4の なの平均値	平均 19 1	年
3.0 4.0 3.0 3.2 4.0	5	3.2.1 ② 3.2.2 3.3 3.4.1 3.4.2 3.4.3	再年 年 本	廃棄物処理負荷抑制 使用していない リサイクル資材を使用して 抑制 年数 建築基準法に定める対策 更新必要間隔/設備の自約 更新必要間隔 計算式参照 自給率向上 (1)、2)、4)、5)、6)	いる が講じられている 合 率向上/維持管理 /	評価しない	経過年数+ 3.4. 更新年数 自給率向	・今後の想定耐用年数 1,3.4.2,3.4.3,3.4.4の なの平均値]上の取組数	平均 19 1	年 項目
3.0 4.0 3.0 3.2 4.0 2.0 4.0	5 5	3.2.1 ② 3.2.2 3.3 3.4.1 3.4.2 3.4.3 3.4.4	再年 年 本	廃棄物処理負荷抑制 使用していない リサイクル資材を使用して 抑制 年数 建築基準法に定める対策 更新必要間隔/設備の自約 更新必要間隔 計算式参照 自給率向上 (4) (1)、2)、4)、5)、6)	いる が講じられている 合 率向上/維持管理 /	評価しない	経過年数+ 3.4. 更新年数 自給率向	・今後の想定耐用年数 1,3.4.2,3.4.3,3.4.4の なの平均値]上の取組数	平均 19 1	年 項目
3.0 4.0 3.0 3.2 4.0 2.0	5	3.2.1 ② 3.2.2 3.3 3.4.1 3.4.2 3.4.3	再年 年 本	廃棄物処理負荷抑制 使用していない リサイクル資材を使用して 抑制 年数 建築基準法に定める対策 更新必要間隔/設備の自約 更新必要間隔 計算式参照 自給率向上 (1)、2)、4)、5)、6)	いる が講じられている 合 率向上/維持管理 /	評価しない	経過年数+ 3.4. 更新年数 自給率向	・今後の想定耐用年数 1,3.4.2,3.4.3,3.4.4の なの平均値]上の取組数	平均 19 1	年 項目
3.0 4.0 3.0 3.2 4.0 2.0 4.0 3.0	5 5	3.2.1 ① ② 3.2.2 3.3 3.4 3.4.1 3.4.2 3.4.3 3.4.4 合計	再年 年 本	廃棄物処理負荷抑制 使用していない リサイクル資材を使用して 抑制 年数 建築基準法に定める対策 更新必要間隔/設備の自約 更新必要間隔 計算式参照 自給率向上 (1)、2)、4)、5)、6)	いる が講じられている 合 率向上/維持管理 /	評価しない	経過年数+ 3.4. 更新年数 自給率向	・今後の想定耐用年数 1,3.4.2,3.4.3,3.4.4の なの平均値]上の取組数	平均 19 1	年 項目
3.0 4.0 3.0 3.2 4.0 2.0 4.0 3.0 12.7	5 5 20 様性/敷地 最大加点	3.2.1 ① ② 3.2.2 3.3 3.4.1 3.4.2 3.4.3 3.4.4 合計	再再躯非廃躯を主主設に維バ利利料材造物材を要要には、管でフリーを主体構棄体を要要には、管でフリーを主体が対し、関係では、では、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、	廃棄物処理負荷抑制 使用していない リサイクル資材を使用して 抑制 日年数 建築基準法に定める対策 更新必要間隔/設備の自動 更新必要間隔 計算式参照 自給率向上 (4) (1)、2)、4)、5)、6) (5) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7	いる が講じられている 合本向上/維持管理/	評価しない	経過年数+ 3.4. 更新年率 自結持管理 指標	・今後の想定耐用年数 1,3.4.2,3.4.3,3.4.4の なの平均値]上の取組数	平均 19 1	年 項目
3.0 4.0 3.0 3.2 4.0 2.0 4.0 3.0 12.7	5 5 20 様性/敷地 最大加点	3.2.1 ① ② 3.2.2 3.3 3.4 3.4.1 3.4.2 3.4.3 3.4.4 合計	再再躯非廃躯を主主設と維バ利利料材造物材を要要には、管でフリートを関する。 では、	廃棄物処理負荷抑制 使用していない リサイクル資材を使用して 抑制 年数 建築基準法に定める対策 更新必要間隔/設備の自動 更新必要間隔 計算式参照 自給率向上 (4) (1)、2)、4)、5)、6) で (ボリアフリーチェックリストの (5) で (5) で (5) で (6) で (7) で	いる が講じられている 合本向上/維持管理/ の半分以上を満たしてし 来生物・生態系被害防	評価しない	経過年数+ 3.4. 更自維持 新本 管 指い ない	・今後の想定耐用年数 1,3.4.2,3.4.3,3.4.4の なの平均値]上の取組数	平均 19 1 10	年 項目
3.0 4.0 3.0 3.2 4.0 2.0 4.0 3.0 12.7 4. 生物多 評価 適合	5 5 20 樣性/敷地 最大加点	3.2.1 ① ② 3.2.2 3.3 3.4.1 3.4.2 3.4.3 3.4.4 合計	再再躯非廃躯 主主 設維 バイリカー 大村村 はいい ではない ではない ではない ではない ではない ではない ではない	廃棄物処理負荷抑制 使用していない リサイクル資材を使用して 抑制 (世界を) (世界を) (世界を) (地) (地) (地) (地) (地) (地) (大) /b>	いる が講じられている 合本向上/維持管理/ の半分以上を満たしてし 来生物・生態系被害防	評価しない	経過年数+ 3.4. 更新年率 自結持管理 指標	・今後の想定耐用年数 1,3.4.2,3.4.3,3.4.4の なの平均値]上の取組数	平均 19 1 10	年 項目
3.0 4.0 3.0 3.2 4.0 2.0 4.0 3.0 12.7 4. 生物多 評価 適合	5 5 20 様性/敷地 最大加点	3.2.1 ② 3.2.2 3.3 3.4.1 3.4.2 3.4.3 3.4.4 合計 必須項 4.1	再再躯非廃躯・主主・設・維・バー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	廃棄物処理負荷抑制 使用していない リサイクル資材を使用して 抑制 年数 建築基準法に定める対策 更新必要間隔/設備の自約 更新必要間隔 計算式参照 自給率向上 (1)、2)、4)、5)、6) (5) バリアフリーチェックリストの (5) ド特定・未判定外来生物、生物・大力 (5) (6) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7	いる が講じられている 合本向上/維持管理/ の半分以上を満たしてし 来生物・生態系被害防	評価しない	経過年 3.4. 更 自 維 指いし な	・今後の想定耐用年数 1,3.4.2,3.4.3,3.4.4の なの平均値]上の取組数	平均 19 1 10	年 項目
3.0 4.0 3.0 3.2 4.0 2.0 4.0 3.0 12.7 4. 生物多 評価 適合 8.0 [4.2対象外の] 0.0	5 5 5 20 様性/敷地 最大加点 10 時は点数を倍] 0	3.2.1 ② 3.2.2 3.3 3.4.1 3.4.2 3.4.3 3.4.4 合計 必須項 4.1	再再躯非廃躯・主主・設・維バー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	廃棄物処理負荷抑制 使用していない リサイクル資材を使用して 抑制 年数 建築基準法に定める対策 更新必要間隔/設備の自動 計算式参照 自給率向上 (1)、2)、4)、5)、6) (7	いる が講じられている 合本向上/維持管理/ の半分以上を満たしてし 来生物・生態系被害防・ 態系被害防止外来種を	評価しない パリアフリー	経過 到 和 第 和 新 会 持 指 に は な な の の の の の の の の の の の の の	- 今後の想定耐用年数 1,3.4.2,3.4.3,3.4.4の ての平均値]上の取組数 型に関する取組数	平均 19 1 10	年 項目 ポイント
3.0 4.0 3.0 3.2 4.0 2.0 4.0 3.0 12.7 4. 生物多 評価 適合 8.0 [4.2対象外の] 0.0 [対策不	5 5 20 様性/敷地 最大加点 10 時は点数を倍] の で要は対象外]	3.2.1 ② 3.2.2 3.3 3.4.1 3.4.2 3.4.3 3.4.4 合計 必須項 4.1 4.2	再再躯非廃躯・主主・設・維・バー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	廃棄物処理負荷抑制 使用していない リサイクル資材を使用して 抑制 目年数 建築基準法に定める対策 更新必要間隔/設備の自動 計算式参照 自給率向上 (1)、2)、4)、5)、6) (5) バリアフリーチェックリストの (5) ド特定・未判定外来生物・未判定外 特定・未判定外来生物、生活 (3)、5) ブラウンフィールド再生 土壌汚染対策法に基づく	いる が講じられている 合本向上/維持管理/ の半分以上を満たしてし 来生物・生態系被害防・ 態系被害防止外来種を	評価しない パリアフリー	経過年 3.4. 更 自 維 指いし な	- 今後の想定耐用年数 1,3.4.2,3.4.3,3.4.4の ての平均値]上の取組数 型に関する取組数	平均 19 1 10	年 項目 ポイント
3.0 4.0 3.0 3.2 4.0 2.0 4.0 3.0 12.7 4. 生物多 評価 適合 8.0 [4.2対象外の] 0.0	5 5 5 20 様性/敷地 最大加点 10 時は点数を倍] 0	3.2.1 ② 3.2.2 3.3 3.4.1 3.4.2 3.4.3 3.4.4 合計 必須項 4.1 4.2 4.3	再再躯非廃躯・主主・設・維バー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	廃棄物処理負荷抑制 使用していない リサイクル資材を使用して 抑制 理築基準法に定める対策 更新必要間隔/設備の自 シ更新必要間隔/設備の自 シ更新必要間隔 計算式参照 自給 (1)、2)、4)、5)、6) (5) バリアフリーチェックリストの (特定外来生物・未判定外来生物、生物・未判定外来生物、生物・大力・大力・大力・大力・大力・大力・大力・大力・大力・大力・大力・大力・大力・	いる が講じられている 合本向上/維持管理/ の半分以上を満たしてし 来生物・生態系被害防・ 態系被害防止外来種を	評価しない パリアフリー	経過 到 和 第 和 新 会 持 指 に は な な の の の の の の の の の の の の の	- 今後の想定耐用年数 1,3.4.2,3.4.3,3.4.4の ての平均値]上の取組数 型に関する取組数	平均 19 1 10	年 項目 ポイント
3.0 4.0 3.0 3.2 4.0 2.0 4.0 3.0 12.7 4. 生物多 評価 適合 8.0 [4.2対象外の] 0.0 [対策不 2.0 1.0	5 5 20 様性/敷地 最大加点 10 時は点数を倍] の で要は対象外]	3.2.1 ② 3.2.2 3.3 3.4.1 3.4.2 3.4.3 3.4.4 合計 必須項 4.1 4.2 4.3.1	再再躯非廃躯・主主・設・維バ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	廃棄物処理負荷抑制 使用していない リサイクル資材を使用して 抑制 目年数 建築基準法に定める対策 更新必要間隔/設備の自動 計算式参照 自給率向上 (1)、2)、4)、5)、6) 反 バリアフリーチェックリストの 特定・未判定外来生物、生物・未判定外来生物、生物・未判定外来生物・生物・生物・生物・生物・生物・生物・生物・生物・生物・生物・生物・生物・生	いる が講じられている 合本向上/維持管理/ の半分以上を満たしてい 来生物・生態系被害防止外来種を 態系被害防止外来種を	評価しない パリアフリー	経 更 自 維 指いな ② な	- 今後の想定耐用年数 1,3.4.2,3.4.3,3.4.4の ての平均値]上の取組数 型に関する取組数	平均 19 10 10 評価値	年 項目 ポイント
3.0 4.0 3.0 3.2 4.0 2.0 4.0 3.0 12.7 4. 生物多 評価 適合 8.0 [4.2対象外の] 0.0 [対策不 2.0	5 5 20 様性/敷地 最大加点 10 時は点数を倍] の で要は対象外]	3.2.1 ② 3.2.2 3.3 3.4.1 3.4.2 3.4.3 3.4.4 合計 必須項 4.1 4.2 4.3.1	再再躯非廃躯・主主・設・維・バー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	廃棄物処理負荷抑制 使用していない リサイクル資材を使用して 抑制 建築基準法に定める対策 更新必要間隔/設備の自動 計算式参照 自給 1)、2)、4)、5)、6) (大) (大) (大) (大) (大) (大) (大) (大) (大) (大	いる が講じられている 合本向上/維持管理/ の半分以上を満たしてい 来生物・生態系被害防止外来種を 態系被害防止外来種を	評価しない パリアフリー	経 更自維 おいな ② な 鉄 新 給 持 標 に し 組 まままた	- 今後の想定耐用年数 1,3.4.2,3.4.3,3.4.4の なの平均値]上の取組数 型に関する取組数	平均 19 10 10 2	年 年 項目 ポイント 分圏内
3.0 4.0 3.0 3.2 4.0 2.0 4.0 3.0 12.7 4. 生物多 評価 適合 8.0 [4.2対象外の] 0.0 [対策不 2.0 1.0	5 5 5 20 様性/敷地 最大加点 10 時は点数を倍 0 要は対象外] 5	3.2.1 ② 3.2.2 3.3 3.4.1 3.4.2 3.4.3 4.4 合計 必須項 4.1 4.2 4.3 4.3.1 4.3.2	再再躯非廃躯・主主・設・維バー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	廃棄物処理負荷抑制 使用していない リサイクル資材を使用して 抑制 理築基準法に定める対策 更新必要間隔/設備の自動 計算式参照 自給 (1)、2)、4)、5)、6) (5) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7	いる が講じられている 合本向上/維持管理/ の半分以上を満たしてい 来生物・生態系被害防止外来種を 態系被害防止外来種を	評価しない パリアフリー	経 更 自 維 指いな ② な	- 今後の想定耐用年数 1,3.4.2,3.4.3,3.4.4の なの平均値]上の取組数 型に関する取組数	平均 19 10 10 2	年 項目 ポイント
3.0 4.0 3.0 3.2 4.0 2.0 4.0 3.0 12.7 4. 生物多 評価 適合 8.0 [4.2対象外の 0.0 [対策不 2.0 1.0	5 5 20 様性/敷地 最大加点 10 時は点数を倍] の で要は対象外]	3.2.1 ② 3.2.2 3.3 3.4.1 3.4.2 3.4.3 4.4 合計 必須項 4.1 4.2 4.3 4.3.1 4.3.2	再再躯非廃躯・主主・設・維・バー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	廃棄物処理負荷抑制 使用していない リサイクル資材を使用して 抑制 建築基準法に定める対策 更新必要間隔/設備の自動 計算式参照 自給 (1)、2)、4)、5)、6) (5) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7	いる が講じられている 合本向上/維持管理/ の半分以上を満たしてい 来生物・生態系被害防止外来種を 意系被害防止外来種を を おきない この は	評価しない パリアフリー いる 止外来種を使用し でけない こない	経 更自維 おいな ② な 鉄 新 給 持 標 に し 組 まままた	- 今後の想定耐用年数 1,3.4.2,3.4.3,3.4.4の での平均値]上の取組数 型に関する取組数 はご関する取組数	平均 19 10 10 評価値 2	年 年 項 ポイント 別 圏 内
3.0 4.0 3.0 3.2 4.0 2.0 4.0 3.0 12.7 4. 生物多 評価 適合 8.0 (4.2対象外の) 0.0 [対策不 2.0 1.0	5 5 20 様性/敷地 最大加点 10 時は点数を倍 0 要は対象外] 5	3.2.1 ② 3.2.2 3.3 3.4.1 3.4.2 3.4.3 3.4.4 合計 必須項 4.1 4.2 4.3.1 4.3.1 4.3.2 4.4	再再躯非廃躯・主主、設、維、バー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	廃棄物処理負荷抑制 使用していない リサイクル資材を使用して 抑制 建築基準法に定める対策 更新必要間隔/設備の自動 計算式参照 自給 (1)、2)、4)、5)、6) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7	いる が講じられている 合本向上/維持管理/ の半分以上を満たしてい 来生物・生態系被害防止外来種を 意系被害防止外来種を を おきない この は	評価しない パリアフリー いる 止外来種を使用し でけない こない	経 更自維 指いな②な鉄取 サ 3.4. 数 向 理 は な②な 鉄 取 数 は り し が 組 ないし り は ま 数	- 今後の想定耐用年数 1,3.4.2,3.4.3,3.4.4の での平均値]上の取組数 型に関する取組数 はご関する取組数	平均 19 10 10 評価値 2	年 年 年 目 イント ク 項 目
3.0 4.0 3.0 3.2 4.0 2.0 4.0 3.0 12.7 4. 生物多 評価 適合 8.0 [4.2対象外の] 0.0 [対策不 2.0 1.0	5 5 5 20 様性/敷地 最大加点 10 時は点数を倍 0 要は対象外] 5	3.2.1 ② 3.2.2 3.3 3.4.1 3.4.2 3.4.3 4.4 合計 必須項 4.1 4.2 4.3 4.3.1 4.3.2	再再躯非廃躯・主主、設、維、バー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	廃棄物処理負荷抑制 使用していない リサイクル資材を使用して 抑制 建築基準法に定める対策 更新必要間隔/設備の自動 計算式参照 自給 (1)、2)、4)、5)、6) (5) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7	いる が講じられている 合本向上/維持管理/ の半分以上を満たしてい 来生物・生態系被害防止外来種を 意系被害防止外来種を を おきない この は	評価しない パリアフリー いる 止外来種を使用し でけない こない	経 更自維 指いな②な鉄取 サ 3.4. 数 向 理 は な②な 鉄 取 数 は り し が 組 ないし り は ま 数	- 今後の想定耐用年数 1,3.4.2,3.4.3,3.4.4の での平均値]上の取組数 型に関する取組数 はご関する取組数	平均 19 10 10 評価値 2	年 年 年 目 イント ク 項 目
3.0 4.0 3.0 3.2 4.0 2.0 4.0 3.0 12.7 4. 生物多 評価 適合 8.0 [4.2対象外の] 0.0 [対策不 2.0 1.0	5 5 20 様性/敷地 最大加点 10 時は点数を倍] 0 で要は対象外] 5	3.2.1 ② 3.2.2 3.3 3.4.1 3.4.2 3.4.3 3.4.4 合計 必須項 4.1 4.2 4.3.1 4.3.1 4.3.2 4.4	再再躯非廃躯・主主、設、維、バー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	廃棄物処理負荷抑制 使用していない リサイクル資材を使用して 抑制 建築基準法に定める対策 更新必要間隔/設備の自動 計算式参照 自給 (1)、2)、4)、5)、6) (5) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7	いる が講じられている 合本向上/維持管理/ の半分以上を満たしてい 来生物・生態系被害防止外来種を 意系被害防止外来種を を おきない この は	評価しない パリアフリー いる 止外来種を使用し でけない こない	経 更自維 指いな②な鉄取 サ 3.4. 数 向 理 は な②な 鉄 取 数 は り し が 組 ないし り は ま 数	- 今後の想定耐用年数 1,3.4.2,3.4.3,3.4.4の での平均値]上の取組数 型に関する取組数 はご関する取組数	平均 19 10 10 評価値 2	年 年 年 目 イント ク 項目
3.0 4.0 3.0 3.2 4.0 2.0 4.0 3.0 12.7 4. 生物多 評価 適合 8.0 [4.2対象外の] 0.0 [対策不 2.0 1.0 3.0	5 5 20 様性/敷地 最大加点 10 時は点数を倍 0 要は対象外] 5 20	3.2.1 ② 3.2.2 3.3 3.4.1 3.4.2 3.4.3 3.4.4 合計 必須 4.1 4.2 4.3.1 4.3.1 4.3.2 4.4 合計	再再躯非廃躯・主主・設・維バ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	廃棄物処理負荷抑制 使用していない リサイクル資材を使用して 抑制 建築基準法に定める対策 更新必要間隔/設備の自動 計算式参照 自給 (1)、2)、4)、5)、6) (大) (大) (大) (大) (大) (大) (大) (大) (大) (大	いる が講じられている 合本向上 / 維持管理 / の半分以上を満たしてい 来生物・生態系被害防止外来種を態系被害防止外来種を	評価しない パリアフリー いる 止外来種を使用し ではい こない	経 更自維 指いな②な鉄取 サ 3.4. 数 向 理 は な②な 鉄 取 数 は り し が 組 ないし り は ま 数	- 今後の想定耐用年数 1,3.4.2,3.4.3,3.4.4の での平均値]上の取組数 型に関する取組数 はご関する取組数	平均 19 10 10 評価値 2	年 年 年 目 イント ク 項 目
3.0 4.0 3.0 3.2 4.0 2.0 4.0 3.0 12.7 4. 生物多 評価 適合 8.0 [4.2対象外の] 0.0 [対策不 2.0 1.0 3.0	5 5 20 様性/敷地 最大加点 10 時は点数を倍 0 要は対象外] 5 20	3.2.1 ② 3.2.2 3.3 3.4.1 3.4.2 3.4.3 3.4.4 合計 必須項 4.1 4.2 4.3.1 4.3.1 4.3.2 4.4	再再躯非廃躯。主主設。維バ 目生土、公公、交 自 目生生体構棄体、要要、備、持、リ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	廃棄物処理負荷抑制 使用していない リサイクル資材を使用して 抑制 建築基準法に定める対策 更新必要間隔 計算な参照 自給 (1)、2)、4)、5)、6) (5) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7	いる が講じられている 合本向上 / 維持管理 / の半分以上を満たしてい 来生物・生態系被害防止外来種を態系被害防止外来種を	評価しない パリアフリー いる 止外来種を使用し ではい こない	経 更自維 指いな②な鉄取リ 指 数4.数 向 理 は は な②な鉄取り 指 数 向 理 は まま数 の で は まま数 の	- 今後の想定耐用年数 1,3.4.2,3.4.3,3.4.4の での平均値]上の取組数 型に関する取組数 はご関する取組数	平均 19 1 10 評価値 2	年 年 年 目 イント ク 項 目
3.0 4.0 3.0 3.2 4.0 2.0 4.0 3.0 12.7 4. 生物多 評価 適合 8.0 [4.2対象外の] 0.0 [対策不 2.0 1.0 3.0	5 5 20 様性/敷地 最大加点 10 時は点数を倍 0 要は対象外] 5 20	3.2.1 ② 3.2.2 3.3 3.4.1 3.4.2 3.4.3 3.4.4 合計 必須 4.1 4.2 4.3.1 4.3.1 4.3.2 4.4 合計	再再躯非廃躯・主主・設・維バ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	廃棄物処理負荷抑制 使用していない リサイクル資材を使用して 抑制 建築基準法に定める対策 更新必要間隔 計算な参照 自給 (1)、2)、4)、5)、6) (5) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7	いる が講じられている 合本向上 / 維持管理 / の半分以上を満たしてい 来生物・生態系被害防止外来種を態系被害防止外来種を	評価しない パリアフリー いる 止外来種を使用し ではい こない	経 更自維 指いな②な鉄取リ サ 3.4.数 向 類 標 し組 駅数の が は 数 の で り の の の の の の り の の の の の り の り の り	- 今後の想定耐用年数 1,3.4.2,3.4.3,3.4.4の での平均値]上の取組数 型に関する取組数 はご関する取組数	平均 19 1 10 評価値 2	年 年 年 目 イント ク 項目
3.0 4.0 3.0 3.2 4.0 2.0 4.0 3.0 12.7 4. 生物多 評価 適合 8.0 [4.2対象外の] 0.0 [対策不 2.0 1.0 3.0	5 5 20 様性/敷地 最大加点 10 時は点数を倍 0 要は対象外] 5 20	3.2.1 ② 3.2.2 3.3.3 3.4.1 3.4.2 3.4.3 3.4.4 合計 必須 4.1 4.3.1 4.3.2 4.4 合計	再再躯非廃躯。主主設。維バ 目生土、公公、交 自 目生生体構棄体、要要、備、持、リ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	廃棄物処理負荷抑制 使用していない リサイクル資材を使用して 抑制 建築基準法に定める対策 更新必要間隔 計算な参照 自給 (1)、2)、4)、5)、6) (5) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7	いる が講じられている 合本向上 / 維持管理 / の半分以上を満たしてい 来生物・生態系被害防止外来種を態系被害防止外来種を	評価しない パリアフリー いる ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	経 更自維 指いな②な鉄取リ 指 数4.数 向 理 は は な②な鉄取り 指 数 向 理 は まま数 の で は まま数 の	- 今後の想定耐用年数 1,3.4.2,3.4.3,3.4.4の での平均値]上の取組数 型に関する取組数 はご関する取組数	平均 19 1 10 評価値 2	年 年 年 目 イント ク 項目
3.0 4.0 3.0 3.2 4.0 2.0 4.0 3.0 12.7 4. 生物多 評価 適合 8.0 [4.2対象外の] 0.0 [対策不 2.0 1.0 3.0	5 5 20 様性/敷地 最大加点 10 時は点数を倍 0 要は対象外] 5 20	3.2.1 ② 3.2.2 3.3.3 3.4.1 3.4.2 3.4.3 3.4.4 合 必 4.1 4.3.1	再再躯非廃躯。主主。設、維、バー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	廃棄物処理負荷抑制 使用していない リサイクル資材を使用して 抑制 建築基準法に定める対策 更新必要間隔 計算な一般 の自動 計算な一般 の自動 を受ける。 では、対して のは、対して を対して を対して のは、対して を対して を対して のは、対して を対して を対して を対して を対して を対して のは、対して を対して を対して を対して を対して を対して を対して を対して を	いる が講じられている 合本向上 / 維持管理 / の半分以上を満たしている 来生物・生態系被害防止外来種を態系被害防止外来種を 意味 () では、	評価しない パリアフリー いる ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	経 更自維 指いな②な鉄取リ 指いし取し道組ス 特にしまま数の 標しまま数の	- 今後の想定耐用年数 1,3.4.2,3.4.3,3.4.4の での平均値]上の取組数 型に関する取組数 はご関する取組数	平均 19 10 10 評価値 2	年 年 年 日 イ と と り り り り り り り り り り り り り り り り り
3.0 4.0 3.0 3.2 4.0 2.0 4.0 3.0 12.7 4. 生物多 評価 適合 8.0 [4.2対象外の 0.0 [対策不 2.0 1.0 3.0 5.0	5 5 20 様性/敷地 最大加点 10 時は点数を倍 0 要は対象外] 5 20	3.2.1 3.2.2 3.3 3.4.1 3.4.2 3.4.3 3.4.4 A.3 4.1 4.2 4.3.1 4.3.2 4.4 A.3.1 4.3.2 4.4 A.3.1 5.1.1 5.1.1	再再躯非廃躯。主主。設、維、バー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	廃棄物処理負荷抑制 使用していない リサイクル資材を使用して 抑制 建築基準法に定める対策 更新必要間隔 計算な参照 自給 (1)、2)、4)、5)、6) (5) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7	いる が講じられている 合本向上 / 維持管理 / の半分以上を満たしている 来生物・生態系被害防止外来種を態系被害防止外来種を 意味 () では、	評価しない パリアフリー いる ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	経 更自維 指いな②な鉄取リ 指 数4.数 向 理 は は な②な鉄取り 指 数 向 理 は まま数 の で は まま数 の	- 今後の想定耐用年数 1,3.4.2,3.4.3,3.4.4の での平均値]上の取組数 型に関する取組数 はご関する取組数	平均 19 10 10 評価値 2	年 年 年 目 イント ク 項 目
3.0 4.0 3.0 3.2 4.0 2.0 4.0 3.0 12.7 4. 生物多 評価 適合 8.0 [4.2対象外の] 0.0 [対策不 2.0 1.0 3.0	5 5 20 様性/敷地 最大加点 10 時は点数を倍 0 要は対象外] 5 20	3.2.1 3.2.2 3.3 3.4.1 3.4.2 3.4.3 3.4.4 A.3 4.1 4.2 4.3.1 4.3.2 4.4 A.3.1 4.3.2 4.4 A.3.1 5.1.1 5.1.1	再再躯非廃躯。主主。設、維、バー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	廃棄物処理負荷抑制 使用していない リサイクル資材を使用して 抑制 建築基準法に定める対策 更新必要間隔 計算名率の上 (4) (1)、2)、4)、5)、6) (5) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7	いる が講じられている 合本向上 / 維持管理 / の半分以上を満たしている 来生物・生態系被害防止外来種を態系被害防止外来種を 意味 () では、	評価しない パリアフリー いる ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	経 更 自 維 指いな ② な 鉄 取 リ 指 な 開	・今後の想定耐用年数 1,3.4.2,3.4.3,3.4.4の ての平均値 引上の取組数 型に関する取組数 はバス停からの距離 合計数	平均 19 1 10 10 評価値 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	年 年 年 月 イ イ 圏 目 類
3.0 4.0 3.0 3.2 4.0 2.0 4.0 3.0 12.7 4. 生物多 評価 適合 8.0 [4.2対象外の 0.0 [対策不 2.0 1.0 3.0 5.0	5 5 20 様性/敷地 最大加点 10 時は点数を倍 0 要は対象外] 5 20	3.2.1 ② 3.2.2 3.3.3 3.4.1 3.4.2 3.4.3 3.4.4 合 必 4.1 4.3.1 4.3.1 4.3.1 4.3.1 5.1.2	再再躯非廃躯。主主。設、維、バー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	廃棄物処理負荷抑制 使用していない リサイクル資材を使用して 抑制 建築基準法に定める対策 更新必要間隔 計算名率の上 (1)、2)、4)、5)、6) (5) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7	いる が講じられている 合本向上 / 維持管理 / の半分以上を満たしている 来生物・生態系被害防止外来種を態系被害防止外来種を 意味 () では、	評価しない パリアフリー いる 止外来種を使用していない こない	経 更自維 指いな②な鉄取リ 指いし取し道組ス 特にしまま数の 標しまま数の	・今後の想定耐用年数 1,3.4.2,3.4.3,3.4.4の ての平均値 引上の取組数 型に関する取組数 はバス停からの距離 合計数	平均 19 10 10 評価値 2	年 年 年 月 イ と り り り り り り り り り り り り り り り り り り
3.0 4.0 3.0 3.2 4.0 2.0 4.0 3.0 12.7 4. 生物多 評価 適合 8.0 [4.2対象外の 0.0 [対策不 2.0 1.0 3.0 5.0 5.0 4.0 3.0	5 5 20 様性/敷地 10 時は点数を倍 0 要は対象外 5 20 境 大加点	3.2.1 ② 3.2.2 3.3.3 3.4.1 3.4.2 3.4.3 3.4.4 合計 必須 4.1 4.3.2 4.4 合計 5.1.1 5.1.2 5.1.2	再再躯非廃躯。主主。設、維、バー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	廃棄物処理負荷抑制 使用していない リサイクル資材を使用して 抑制 建築基準法に定める対策 更新必要間隔 計算名率の上 (4) (1)、2)、4)、5)、6) (5) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7	いる が講じられている 合本向上 / 維持管理 / の半分以上を満たしている 来生物・生態系被害防止外来種を態系被害防止外来種を 意味 () では、	評価しない パリアフリー いる 止外来種を使用していない こない	経 更自維 指いな②な鉄取リ 指しロ光 数4.数 向理 は ま 数 の で 本 年 本 管	・今後の想定耐用年数 1,3.4.2,3.4.3,3.4.4の ての平均値 引上の取組数 型に関する取組数 はバス停からの距離 合計数	平均 19 10 10 評価値 2	年 年 年 月 イ イ 圏 目 類
3.0 4.0 3.0 3.2 4.0 2.0 4.0 3.0 12.7 4. 生物多 評価 適合 8.0 [4.2対象外の] 0.0 [対策不 2.0 1.0 3.0 5.0	5 5 20 様性/敷地 最大加点 10 時は点数を倍 0 要は対象外] 5 20	3.2.1 ② 3.2.2 3.3.3 3.4.1 3.4.2 3.4.3 3.4.4 合計 必須 4.1 4.3.2 4.4 合計 5.1.1 5.1.2 5.1.2	再再躯非廃躯。主主。設、維、バー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	廃棄物処理負荷抑制 使用していない リサイクル資材を使用して 抑制 建築基準法に定める対策 更新必要間隔 計算名率の上 (1)、2)、4)、5)、6) (5) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7	いる が講じられている 合本向上/維持管理/ の半分以上を満たしてい 来生物・生態系被害防止 態系被害防止外来種を ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	評価しない バリアフリー いる 止外来種を使用し でない こない ある あ合 5.1.2の点数×1/3	経 更自維 指いな②な鉄取リ 指はしロ光 数4.数 向理 は ま 数 の で 本 質	- 今後の想定耐用年数 1,3.4.2,3.4.3,3.4.4の はの平均値 1上の取組数 型に関する取組数 はバス停からの距離 合計数	平均 19 1 10 10 評価値 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	年 年 年 月 イ と り り り り り り り り り り り り り り り り り り

CBL-CAS不動産-0067-25 物流評価結果



環境性能の特徴 ・省エネ性(エネルギー消費・節水)が高い建物である。 ・新耐震基準を満たしている。 ・敷地内の生物多様性向上に取り組んでいる。 ・自然災害リスクが少ない。 ・維持管理が適切に行われており、屋内環境も比較的良好である。 ・パリアフリーへの対策も取られている。

評価機関、評価員記名欄	·	·
三式三工+級 日日三寸 夕 +四		
認証機関記名欄		

DPLつくば谷田部